Rotary International District 2570

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

「米山の灯」をさらに大きな輝きに

奨学学友委員長
坂本　優蔵

米山記念奨学部門委員長
井上　豊

奨学推進委員長
奥田　功次

1st December, 2012 Vol.6

家族月間

国際ロータリー第2570地区　2012～2013年度
ガバナー月信 2012年12月1日**第6号**
RID 2570 SAITAMA / JAPAN いいな ふくよ

■ガバナーメッセージ　鈴木　秀憲

公式訪問が無事に終了しました

各クラブの皆様からの心温まる歓迎に、心より感謝申し上げます。

又、地区に対して多くのご意見を頂いた事にも改めて感謝致します。頂いたご意見の全てに直ぐにお応えする事は難しいですが、出来る事一つひとつ解決していきたいと考え、一部は実行に着手しました。

公式訪問の折に「いい風ふくよ」にご共感下さっているクラブが多く、その実行のためにも「バッジを頂けないか」との声も多く頂きましたので、追加作成し、この月信がお手元へ届く頃に、各クラブへ届くように手配しました。

バッジの台紙には、右記を記載しました。

皆様方が、自ら活動する事で世間に良い風を吹かせて下さるよう、切に願います。

「ロータリーの目的は、The Object of Rotary に表されている通り、先ずは会員個々が職業奉仕に努め、その上でクラブや地区が社会奉仕・国際奉仕に努める事と考えます。職業奉仕を一言で表すと、自分や自分の職業に誇りを持ち、その上で更に、自分を磨き、自分の職業を磨く事です。

その結果、貴方の提供する製品や商品やサーヴィスは更に改善され、お客様は喜び、世間の為になり、お店も繁盛します。この事は唱えているだけでは実現出来ません。自ら活動する事が大切です。その象徴として地区テーマバッジを作りました。

図柄は、ロータリーが動く事で良い風が吹く事を表しています。真実に向かって・信ずる処に向かって、活動しましょう。

活動した結果は必ず成果となって表れます。良い風（新風）が必ずや吹くでしょう。」

同伴訪問を要請され　鈴木ガバナーと令夫人　川本ＲＣ

さて、公式訪問させて頂き、それぞれのクラブの運営や文化に接する事ができました。

その中で、川本ロータリークラブへ公式訪問させて頂いた折のご紹介を申し上げます。

会員数11名のクラブですが、例会場には20名の方が着席していました。しかも半数はお揃いのブレザーを着用した女性です。私は一瞬「どちらかのボランティアグループが訪問されているのかな？」と感じましたが、伺ってみたら皆様方は会員の奥様との事でした。

私が一人の方に「公式訪問時の例会には、毎年ご同伴での出席をされるのですか？」と伺うと「いえ、通常例会でも出られる時は出席しています。出られない時もあるので出席率は50％位かしら？」と、笑ってお応え頂きました。

通常、家族同伴親睦旅行とか同伴夕刻例会へのご出席はありますが、通常例会へ率先してご出席下さる奥様方がおられるという事に、大変感心しました。しかも「女性の会」を結成し、例会のみならず、地域駅前の「花壇造り」等の奉仕活動にも積極的にご参加されているとの事を伺い、只々頭の下がる思いがしました。

例会・クラブ協議会が終了し、懇親会が例会場で開催されました。少人数のパーティーなのに、まるで大きなホテルでのビュッフェスタイル、50品目近くあるお料理はどれも心のこもった手造りとの事、塩焼きで頂いた鮎はわざわざ山形まで釣りに行って来たと伺いました。

「今月から例会を夜間開催にしました。こうする事によって、同伴で例会出席する機会が更に増えると思います」と、楽しそうにお話しなさっている奥様の顔が印象的でした。

■第２回会員増強セミナー報告

「善き仲間」と語ること

クラブ奉仕部門委員長　**山口　茂**（熊谷南）

日　時：2012 年 10 月 20 日（土）13：00 ～ 16：30
会　場：紫雲閣（東松山）
出席者：95 名。会長・クラブ会員増強担当等・地区役員

ロータリーの最優先課題となっている会員増強に関する第２回のセミナーを開催しました。この地区の会員は、年度当初1722名だった会員が24名純増し、1746名になっております。各クラブが新会員を迎えるご努力をされていることに心よりお礼申し上げます。

第１回のセミナーでは、RLI方式によるセッションを行い、自身のクラブの現状を再認識して頂いたり、他クラブの状況を理解して頂く場を設けました。その結果多くのご意見を頂きました。クラブ奉仕委員会ではそれを整理し、今回のセミナーでその貴重なご意見を元に、加藤直前研修委員長に会員増強に取り組むためのアドバイスを頂きました。そして基調講演は田中作次RI会長の最も身近な存在であり、RI研修リーダーを務めたこともある中村靖治様にお願いしました。

■ ロータリー・コーディネーター・セミナーの報告

会員増強委員長　**高柳　育行**（本庄）

9月13日にグランドプリンスホテル新高輪において、３ゾーンから地区の会員増強委員長等が出席しました。

RI戦略計画、会員増強・維持、RIの現状報告、公共イメージについての研修に続き、会員増強達成のために行う、サクセス　ジャパン作戦（SAKUJI作戦）の課題について、グループ討議を行いました。これは田中会長の誕生月である来年２月を目処に、３ゾーンの全ての地区で取り組むものです。当地区においても実施に向けたご案内をさせて頂いたところですが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

講演中の中村　靖治 2770 地区パストガバナー

第１回会員増強セミナー

■「RLI方式によるセッション」

パストガバナー
前地区研修委員長　**加藤　玄静**（本庄）

「会員を増やす鍵は、一人ひとりのロータリアンが、ロータリアンになって良かったと納得し、他の人たちに情熱を伝えることです」というRI会長田中氏の言葉を紹介し、新会員を110万人迎えたが、同数くらい退会している現状を説明しました。そして前回セミナーで頂いた意見から、会員数が比較的少ないクラブや会員数が平均的なクラブでは、「会員30人位は必要である」、「自信をもって勧誘できる状況を作る必要がある」といったご意見や、会員減少の原因として「例会がつまらない」、「クラブに馴染めなかった」等の意見があったことを示されました。そして会員数が多いクラブの問題としては、「会員が新会員を受け入れる状況になっているだろうか」、「会長の時間が十分活用されているだろうか」、更には「感動のある例会になっているだろうか」といった課題があったことを挙げられました。また会員増強の目的を明確にし、年間計画や長期計画が必要だとのご意見も挙がりました。

■ 基調講演「善き仲間づくりをしよう」
―ロータリーの輝く未来に向けて―

中村　靖治（RI第2770地区　吉川RC）
2007～08　ガバナー
2010～11　RI研修リーダー
2012～13　第1ゾーン･ロータリー財団
地域コーディネーター補佐

ロータリー活動を続ける大切な要素として「忍耐」、「寛容」、「謙虚」が挙げられますが、何事も一生懸命することであると話されました。そして力強いクラブを造ることはロータリアン全員の責任でもあると言われました。あるとき奥様から「ロータリーに入って良かったね」と言われたそうですが、ご自身はロータリーとともに成長してきたと思われているので、その言葉に改めてロータリアンで良かったと感じたそうです。ロータリーのリーダーシップは、他の組織と違って「横型のリーダーシップ」であると紹介されました。

職業奉仕を通じて他者にサービスする精神が大切でありますが、その根底にあるのがクラブ奉仕であると話されました。「出来ない理由を探すより、出来る方法を探す習慣をつけたい」とも言われ、単に会員増強だけでなく、全ての取り組みに対する姿勢を示されました。「出会いに感謝」しながらも、「振れ過ぎた振り子は、必ず元に戻る」ということで、地区やクラブのあり方に示唆を表して頂いたように思います。

クラブには文化があり、それを大切にすることは重要であり、簡単に合併することもできないと話されました。そして「なぜロータリーに費やしているのか」と考えたときに、「善き仲間」と語ることであると締め括られました。

■米山記念奨学部門セミナー

「米山の灯」をさらに大きな輝きに

米山記念奨学部門委員長　**井上　豊**（秩父）

参加者総計６６名

10月の米山月間では、地区内ほとんどのクラブに米山記念奨学生と共に訪問する事が出来、心から感謝と御礼を申し上げます。

「ロータリー米山記念奨学事業」とは、ご承知の通り日本で学んでいる留学生を支援し、国際理解（他者理解）を推し進めている日本ロータリー独自の事業です。始めは東京ロータリークラブが作った「米山基金」という制度からスタートしています（1952年11月４日）。それから全国のロータリアンのご支援によって米山奨学事業は途切れることなく現在へと続き、これまでに121の国と地域から17,000人以上の留学生が米山奨学生となりました。（第2570地区は、443人の留学生を支援）

さて話は変わりますが、日本人同士でも自分の伝えたいことを正確に伝えようとしたら言葉だけでは簡単ではありません。ましてや外国人ともなればなおさら伝わりにくいものです。その事をうまく表現している漢字が日本にはあります。

漢字の「正」（ただしい）この文字は一画として同じ長さではなく、一画一画の長さが違っている五つの画で成り立っている大変深い意味のある字だと思います。自分では正確に伝えたと思っていても相手には正しく伝わっていない事もあります。

この「正」の字は、『物事の正解は一つでない（五通りもある）』という事を教えているように思います。

また、この「正」の字は、「まさに逆も真なり」で、上に「下」の字が、下に「上」の字があります。人と人の交流の中では、互いに「正解はこれだけだ」と言い張ることなく柔軟な心で向き合うことが必要ではないでしょうか。

私は「つり銭貯金」をしています。これは買物などのおつりを「貯金箱」に入れ、年に２～３回に分けて寄付にしています。普段何気なくポケットに入っているお金が奨学基金となり、将来実を結ぶ事を想像すると幸せを感じて続けられています。

しかし、ここにも落とし穴があります。ある程度のお金がまとまるとつい目的を忘れて使いたくなる事もありますが、そんな時には強い気持ちで当初の目的を貫くことが肝心と心しています。

私たち米山記念奨学部門は、多くの出会いと夢ある奨学生の明るい未来を育みたいと常に考えています。この「ロータリー米山記念奨学事業」は、私たち日本ロータリーが世界に誇れる独自の事業です。どうか「米山の灯」をさらに大きな輝きにするように皆様のご理解ご支援を重ねてお願い申し上げます。

富士見RC
元 壽 敏（ワン ス ミン）
韓国・立教大学

熊谷南RC
黄 ボラ（ファン ボ ラ）
韓国・埼玉大学

和光RC
江 佩 蓁（ジャン ペイ ジン）
台湾・東京国際大学

行田さくらRC
呉 海 任（オ ヘイ ム）
韓国・日本薬科大学

朝霞キャロットRC
バーラスブラマニエン,シバクマール
インド・東洋大学

熊谷RC
那 音 太（ナ イン タイ）
中国内モンゴル・ものつくり大学

新座こぶしRC
李 彰 美（イ チャン ミン）
韓国・立教大学

所沢RC
鐘 暁 薔（チョン シャウ フェイ）
マレーシア・西武文理大学

秩父RC
周 大 亮（シュウ ダイ リョウ）
中国・駿河台大学

飯能RC
劉 融 冰（リュウ ユウ ヒ）
中国・駿河台大学

狭山中央RC
金 强 重（キム ガン ジュン）
韓国・西武文理大学

深谷RC
劉 相 琳（リュウ ショウ リン）
中国・埼玉工業大学

青少年交換学生紹介（2） Chiao Chang

台湾　**ジョイ（張 喬）さん**（ホストクラブ＝川越RC）

私の日本での生活

私が学校で過ごす日々はとても楽しいです。なぜなら、クラスメートやその他の沢山の友達はみんな良い人たちばかりだからです。それに、私は日本語が話せるので、交換学生として初めて二学年に籍を置くことができたからです。二年生のクラスに入り良かったことは、私のホストシスターである「うらら」がいること、それから沢山の友達に出会えたことです。私のクラス以外の人達も良い人は沢山います。沢山のクラスの人とも友達になれました。今学校で過ごす日々はとても楽しいです。廊下ではいつも友達と遭遇します。私は友達に呼びかけてもらえるのがとても嬉しいです。学校は本当に大好きな所です。なので毎回学校に行くのが楽しみです。みんな私に対して色々な考えを持っています。例えば何人かの人は私の日本語を上手だと言い、驚きました。何人かの人は私に、「なんでこんなに日本語を話せるの？」と聞きました。また台湾のことを私に沢山聞いてきました。

私の他に留学生は五人います。他の留学生は私のことを「不公平だ！」と言います。なぜなら私はみんなより日本語が少しできるからです。しかし、みんなが私のことを「不公平だ！」と言う気持ちは正しいです。なぜなら私ももし彼らだったら私も同じ気持ちになるからです。今、私と交換留学生たちの関係はとても良いです。毎回会うのが楽しみです。彼らと話すのはとても楽しいです。私はみんなに会う機会をもっと増やしたいと思います。

私のロータリークラブは川越ロータリークラブです。毎月一回は例会に行きます。そしてお小遣いをもらいます。しかし、私はそれが足りないと毎月思います。また例会ではとても良いロータリアンの方々に出会います。以前の例会までは私はホストシスターのうららと一緒の席に座っていましたが、前回からは血液型の席順になり、私たちの血液型は違うので席は分かれてしまいました。最初はとても緊張していましたが、慣れてくると少しずつロータリアンの方々と話すのがとても楽しくなりました。また、一人、中国語が話せるロータリアンの方がいて、一緒に話しました。とても楽しかったです。彼はとても良い人でした。ロータリアンの方々はとても良い人ばかりです。

会長さんやカウンセラーさん、ロータリアンの方々、事務員の方々、みんな優しいです。こんなに私に良くしてくれて、皆様ありがとうございます。

私のホストファミリーは、去年台湾へ留学に来た、うららの家です。彼女の家は大きくもなく、小さくもなく、ちょうど良いです。この家はとても楽しい家です。家族なのでもちろん喧嘩もしますが、それは家族なので当たり前だと思っています。この家で過ごす日々はとても楽しいです。また、ここは田舎なので空気は良いし風景も良いです。たまに稲の香りもして、また夜にはきれいな星が見えます。私はこの場所が本当に好きです。

沢山の人が私に、「台湾の家のことを恋しく思わないか？」と聞きます。しかし、私は全く思いません。みなさん、私を親不孝の娘だと思うでしょう？　ただ私は、台湾の料理が恋しくてたまりません。

これからもよろしくお願いします。

※元の日本語原稿に若干の訂正を加えております（編集部）。

会長：引間　豊　幹事：清水　佳代子

巾着田の曼珠沙華が見頃の時期に鈴木ガバナー、平岡ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。当日は入会３年未満の会員を交えての懇談会、その後会長・幹事との懇談では当クラブが行っている新世代奉仕としての青少年健全育成活動等についてお話させて頂きました。ガバナーの温かいお人柄を感じながらの例会、クラブ協議会は終始和やかな雰囲気のなかご指導頂き有意義な公式訪問でした。

会長：山村　昭康　幹事：長島　功二

10月10日（水）、鈴木ガバナー公式訪問日を迎え、会長・幹事との懇談会の席上、志木RCの概要を説明しました。

志木RCの会員に彫刻家がおり、市内の「カッパ伝説」に因んでロータリークラブに関連する多くのカッパ彫刻が設置されていること。又、樹木に造詣の深い会員もおり、志木以外には存在しない桜の古木を発見し「長勝院ハタザクラ」と命名、同時に志木名物「はたざくら饅頭」を発売した経過等説明をしました。

会長：深澤　好文　幹事：醍醐　治江

10月11日、鈴木ガバナー、細田ガバナー補佐、馬橋・齋藤副幹事をお迎えし、公式訪問が開催されました。会長・幹事との懇談後、３年未満の新入会員を交えて話をする中で、新入会員の意見に大変興味を示され、励ましの言葉も頂き、例会場では「ガバナー方針」、「職業奉仕」、「社会奉仕」について卓話を頂だきました。創立20周年記念に広報委員会が力を入れて作成したホームページを大変褒めて頂き、苦労の甲斐がありました。

会長：新井　直己　幹事：寺田　喜光

10月12日、鈴木ガバナー、梅澤ガバナー補佐、湯本・五十幡地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前中は入会３年未満の会員３名との懇談会を行ない、その後会長・幹事との懇談、そして午後の例会ではガバナーの卓話を拝聴させて頂き、最後のクラブ協議会では各委員会の発表に対してガバナーから適切なアドバイスを頂きました。会員からの質問に対しても親切、丁寧にお答え頂き、有意義な1日でした。

会長：吉田　英一　幹事：山下　政信

10月15日（月）鈴木秀憲ガバナーをお迎えして公式訪問例会を開催。

この５年で極端な会員減少に陥った当クラブの再生が児玉地域の再生に繋がるということ。それぞれの仕事や技術を磨き上げていくことがすなわち職業奉仕。各自の会社が繁栄して地域が栄えることは、ロータリーが元気になること。

地域の役に立つロータリーを目指して会員増強をすすめるうえで、おおいなる指針を示して頂きました。

会長：井上　敏夫　幹事：小林　喜一郎

ガバナー公式訪問では、クラブの抱える問題について協議しました。私は会社と同じでロータリーも永遠で代々引き継がれるものと考えています。高齢になり仕事も後継者に譲り、元気でロータリー活動が出来ている今こそロータリーの基本精神を後継者に伝え、引き渡す準備をするべきだと思っています。それを踏まえ、会員増強策や勧誘方法、今クラブに自分は一体何が出来るか？等々、色々激論を交わしました。

会長：平岡　栄一　幹事：飯田　政義

鈴木ガバナー、平岡補佐、地区副幹事、会長、幹事、エレクト、３年未満会員４名で、和やに懇談会を行ないました。

クラブ自 慢 をしてくださいと言 われ、

1．今年度２名の会員増強ができた。

2．例会で全員での握手を行います。

3．綿菓子販売の収益金を様々な所に寄附している、などをお話ししました。

卓話では、“綱領”を解りやすい言葉に読み替えるとよいとの卓話を頂き、良い勉強をさせて頂きました。

会長：大舘　廣　幹事：田中　保三

午後５時から会長･幹事との懇談が行われ、21年を迎えた今年度の会長方針『治に居て乱を忘れず』の説明や、ガバナーの『いい風吹くよ』の意味合いをお聞きした後、新入会員との懇談と会食を致しました。ガバナー卓話では、重点課題･奉仕の追求についてご指導頂きました。

クラブ協議会に移り、講評をお願いした所、感想として述べるとのことで、ガバナーの暖かいご配慮に感謝しつつ、次年度に向けて頑張りたいと思います。

会長：室伏　秀樹　幹事：大舘　信夫

朝の冷え込みを感じる10月23日、鈴木秀憲ガバナー、平岡達也ガバナー補佐、湯本･橋本地区副幹事をお迎えして、公式訪問が行われました。

11時より会長･幹事との懇談会、12時30分よりクラブ協議会を行いました。鈴木ガバナーは、ご自身の所属クラブ、自社のバス事業を例に、クラブ運営、職業奉仕等について、やさしくご指導を頂き、和やかな雰囲気のうちに終了しました。

会長：戸髙　健司　幹事：山田　一郎

10月24日に鈴木ガバナーをお迎えして公式訪問例会を開催しました。卓話では地区重点課題「奉仕の追求」について部門ごとに具体的にご教示頂きました。

特に職業奉仕とは「自分の職業を磨く」ことと説かれ、製造業は製品を、商業は商品を、サービス業はサービス内容を磨くことが大切とおっしゃられたことが印象的でした。また、例会前の懇親および後のクラブ協議会においてもお人柄溢れるご指導を頂きました。

会長：小林　一夫　幹事：畝　徳治

会長・幹事との懇談では、家族合同例会を多く開催していること、他クラブとの合同例会を長年継続していることを説明し、評価して頂きました。入会3年未満会員との懇談では、既会員と容易に馴染めたか否かと優しい気遣いを頂きました。

続く例会では、ロータリーの綱領と五大奉仕の関係を分かりやすく説明して頂き、クラブ協議会でも当クラブの計画を積極的に評価して頂き、会員の心に残る時間となりました。

会長：平井　博　幹事：原口　守

午後5時から会長・幹事との懇談、更に入会3年未満会員4名を含めての懇談の席上でガバナーのロータリーへの熱い情熱を出席者全員が感じ取りました。

協議会でのガバナーのお話は明瞭克つ平易な言葉でありながら実に説得力がありました。厳しい経済状況ではありますが、会員間のコミュニケーションを大切にし、さらなる発展に向けた活動を続けねばならないことを、会員一同しっかりと自覚できた貴重な一日となりました。

ロータリー
実る秋

小学生
稲刈り・脱穀体験学習

岡部ロータリークラブ

10月25日は朝８時に稲刈り現場に集合し、小学５年生２クラス約60名と小学校長先生をはじめ、担任の先生、父兄、自然を愛する会の会員と共に岡部ロータリアンも稲刈り、脱穀などに汗を流しました。

この体験学習は岡部自然を愛する会の主催で10年以上前から毎年行って来た小学５年生体験学習の一環として行っている行事であり、６月に田植を行い、10月に稲刈り、脱穀を行うという行事であります。この小学生体験学習は自然を愛する会が主催で岡部RCが後援している行事です。

この小学５年生体験学習に岡部RCも毎年参加し、地域の子供達や父兄、先生方との交流を深めております。

新狭山ロータリークラブ

新狭山RCでは、数年にわたって近隣の小学校児童とともに、田植えから収穫までを共同体験活動として取組んでいます。いずれも校長、教頭をはじめ、保護者、児童など大勢が参加します。

最後の収穫祭は、とれたてのお米を使って餅つきをしたり、お米を配ったり、感謝の交歓会となります。　（会長・西澤長次）

所沢西ロータリークラブ

この９月に、さいたま緑の森所沢エリアの糀谷八幡湿地の田んぼの稲刈りに三ヶ島小学校５年生約50人と一緒に当クラブの会員が多数参加致しました。

生徒たちに、稲穂の持ち方、鎌の使い方などを他のサポーターと共に一人ごとに教えました。生徒たちは田んぼのヌメリに泥まみれになりながらも大変楽しそうに稲刈りをしていました。生徒たちは、田植えから脱穀、精米、お米、ご飯になるまでを４月から10月にかけて毎年体験学習をしています。また、昨年当クラブでこの敷地に桜の苗木を５本植樹したものが大きくなり、当クラブの名札が付いている針金が食い込んでいたので、針金をゆるく大きなものに交換しました。来年の春は開花すると思います。

表　彰

メジャードナー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

野中　弘之
（熊谷東RC）

小澤　健一
（行田さくらRC）

中井　眞一郎
（所沢RC）

木暮　亨
（深谷東RC）

中里　協弘
（東松山RC）

ベネファクター

武田　哲
（深谷東RC）

ポール・ハリス・フェロー

細野　達男
（所沢RC）

新藤　隆一
（所沢RC）

米山功労者

106回
金子　千侍
（秩父RC）

18回
戸谷　全克
（本庄南RC）

16回
葭田　秀夫
（秩父RC）

11回
佐川　茂
（皆野・長瀞RC）

8回
小島　武
（新座こぶしRC）

5回
金子　和義
（東松山RC）

3回
當眞　正純
（所沢RC）

3回
増田　武英
（所沢RC）

2回
戸髙　健司
（新座こぶしRC）

2回
藤木　信子
（新所沢RC）

2回
芳賀　惇
（川本RC）

2回
橋本　芳博
（朝霞RC）

表　彰

米山功労者

2回
小松　政敏
（本庄南RC）

2回
室伏　秀樹
（所沢西RC）

1回
石井　正太郎
（所沢RC）

1回
大野　康
（飯能RC）

1回
上野　孝二
（所沢西RC）

今、ニッポンには この夢の力が必要だ。

オリンピック・パラリンピックは夢をくれる。夢は力をくれる。力は未来をつくる。私たちには今、この力が必要だ。ひとつになるために。強くなるために。ニッポンの強さを世界に伝えよう。それが世界の勇気になるはずだから。

さあ、2020年オリンピック・パラリンピックをニッポンで。

来年9月7日、いよいよ開催都市決定!!

TOKYO●2020
CANDIDATE CITY

特定非営利活動法人 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会　公式HP：tokyo2020.jp　公式ツイッター＆フェイスブック：@Tokyo2020jp　facebook.com/tokyo2020.jp

新入会員のご紹介

（深谷RC）

宮本　治
宮本歯科医院
院長
（紹介者）西脇　義夫

（深谷東RC）

橋本　尚
㈱ＦＴＤ管財
代表取締役
（紹介者）斎藤　雅也

（深谷東RC）

鈴木　克彦
㈱鈴木工務所
取締役
（紹介者）新井　直己

（行田さくらRC）

川野　健人
川野健人司法・調査事務所
代表
（紹介者）細井保雄・川辺秀夫

（東松山RC）

宮田　勇二
水戸証券株式会社 東松山支店
支店長
（紹介者）米山　真澄

12・1月のスケジュール

12月

8	土	青少年交換委員会　帰国報告会・クリスマス（ホテル紫雲閣）
9	日	米山記念奨学部門クリスマス　（ホテル紫雲閣）
18	火	R財団：第２回オリエンテーション、ロータリフレンズの集い 16時～19時　（一軒家カフェ、パチャンガ）

1月

13	日	青少年交換委員会　ウインターキャンプ（国立女性教育会館）
14	月	
19	土	公共イメージセミナー　13時点鐘（ホテル紫雲閣）
		新世代セミナー　13時30分点鐘　（ホテル紫雲閣）

編集部から

ロータリー川柳

ロタキチと　呼ばれて尚も　やる気出す
野原　正次郎（川越西）

ネクタイを　どれにしようか　メイキャップ
大野　快三（入間南）

出席率　美人講師が　底上げる
大野　快三（入間南）

還暦も　新入会員　ロータリアン
大河内　隆敞（入間南）

アルコール　川柳サークル　盛上げる
石川　伸一（入間南）

先輩の　誘ひうれしい　メイキャップ
土屋　武義（入間南）

（所沢中央RC）

岡部　憲明
メディカル・ケア・リンク㈱
代表取締役
（紹介者）和田　毅

（所沢RC）

釣流　まゆみ
㈱そごう西武　西武所沢店
店長
（紹介者）新井　重雄

10月の出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率（%）当月	出席率（%）通算	会員数（人）年初（7／1）	9月末現在	9月入会数	9月退会者	本年度入会数	本年度退会者	9月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	4	75.5	82.2	86	87	0	0	1	0	0	1	0
	東松山	3	70.1	77.8	33	33	1	1	1	1	0	0	1
	小川	4	65.9	68.2	12	12	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	4	91.9	90.3	25	25	0	0	0	0	0	0	0
	越生毛呂	5	78.9	81.8	26	26	0	0	0	0	0	0	3
	川越小江戸	4	91.5	94.1	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	5	86.1	84.6	15	15	0	0	0	0	0	0	0
	鶴ヶ島	4	80.5	83.1	26	27	0	0	1	0	0	1	2
	川越中央	4	89.6	86.9	31	34	0	0	3	0	0	3	0
	坂戸さつき	5	63.0	71.9	20	20	0	0	0	0	0	0	4
	東松山むさし	4	85.0	87.3	36	37	1	0	1	0	1	1	4
	小計		79.8	82.6	324	330	2	1	7	1	1	6	15
第2グループ（8RC）	朝霞	5	95.4	93.2	33	33	0	0	0	0	0	0	0
	志木	5	92.2	93.5	49	49	0	0	0	0	0	0	0
	富士見	5	91.7	90.3	49	49	1	1	1	1	0	0	0
	新座	4	88.9	90.7	26	26	0	0	0	0	0	0	2
	和光	4	85.4	82.0	20	20	0	0	0	0	0	0	2
	朝霞キャロット	4	89.0	89.7	13	13	0	1	1	1	-1	0	0
	志木柳瀬川	4	91.7	91.7	12	12	0	0	0	0	0	0	4
	新座こぶし	5	84.6	84.5	15	15	0	0	0	0	0	0	3
	小計		86.0	89.4	217	217	1	2	2	2	-1	0	11
第3グループ（12RC）	入間	4	88.5	86.1	39	40	0	0	1	0	0	1	1
	所沢	4	84.4	84.8	59	59	1	0	1	1	1	0	4
	飯能	4	92.0	91.6	54	54	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	4	100.0	100.0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	新所沢	4	90.0	86.1	19	19	0	0	0	0	0	0	1
	日高	4	81.9	81.1	25	24	0	0	0	1	0	-1	3
	所沢西	5	85.2	86.0	38	38	0	0	0	0	0	0	1
	新狭山	4	89.8	91.1	23	23	0	0	0	0	0	0	0
	所沢東	4	90.1	85.7	37	39	0	0	2	0	0	2	3
	入間南	4	98.2	97.3	39	39	0	0	1	1	0	0	0
	所沢中央	4	96.5	93.9	37	39	1	0	2	0	1	2	0
	狭山中央	5	92.8	89.2	29	30	0	0	1	0	0	1	4
	小計		90.8	89.4	416	421	2	0	8	3	2	5	17
第4グループ（11RC）	深谷	4	76.3	80.0	57	59	1	0	2	0	1	2	9
	本庄	4	84.1	83.8	73	73	0	0	0	0	0	0	7
	秩父	5	81.4	81.7	50	51	0	0	1	0	0	1	0
	寄居	3	68.4	77.1	38	38	0	0	0	0	0	0	0
	児玉	4	57.5	67.7	9	10	0	0	1	0	0	1	0
	岡部	4	87.4	81.5	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	4	73.9	71.6	71	72	0	0	1	0	0	1	0
	川本	4	91.0	87.0	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	4	93.9	87.6	12	13	0	0	1	0	0	1	1
	本庄南	4	74.8	82.8	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	4	93.1	80.6	33	36	0	0	3	0	0	3	0
	小計		80.2	80.1	392	401	1	0	9	0	1	9	19
第5グループ（10RC）	熊谷	4	70.2	75.1	89	92	0	0	3	0	0	3	3
	行田	4	75.9	76.9	55	56	0	0	1	0	0	1	4
	羽生	4	69.6	76.0	42	42	0	1	1	1	-1	0	4
	加須	5	81.8	81.3	37	36	0	0	0	1	0	-1	1
	熊谷西	3	69.2	68.9	13	12	0	0	0	1	0	-1	0
	行田さくら	5	71.7	78.2	42	43	0	0	1	0	0	1	0
	熊谷東	4	90.9	91.3	31	33	0	0	2	0	0	2	2
	吹上	5	92.2	93.0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	88.0	92.1	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	4	64.4	60.7	25	26	0	0	1	0	0	1	1
	小計		77.4	79.3	373	379	0	1	9	3	-1	6	15
52RC	クラブ会員数		83.5	84.1	1722	1748	6	4	35	9	2	26	
	女性会員数				74	77	1	0	4	1	1	3	

秩父夜祭

秩父夜祭は、日本三大曳山（ひきやま）祭りの一つ

毎年12月２日と３日に行われる秩父神社の例大祭です。

笠鉾、屋台は、京都の祇園祭、飛騨高山の春祭と共に重要有形民俗文化財に指定されています。「夜祭」とも「冬祭」とも呼び慣わされ、古くは「妙見まち」とも呼ばれて親しまれてきました。起源は江戸時代に秩父地方の特産物であった「絹」の大市が発展した祭りといわれています。また言い伝えによると、秩父神社はかつて「秩父妙見宮」とも呼ばれており、秩父夜祭は、秩父神社に鎮まる妙見様（女神）と武甲山に鎮まる龍神様（男神）との年に一度の逢瀬の物語として、しばしば語られてきました。

２日は宵宮（宵祭・宵まち）で、御神馬奉納の儀、神楽奉奏、屋台曳き回しなどがあります。一番の見所は、３日の夜に秩父神社から1kmほど離れた御旅所に向けて御神幸行列が出発し、６台の笠鉾、屋台がそれに続き、御旅所下の団子坂と呼ばれる急な坂道をぼんぼりに火が灯された屋台が引き上げられる場面です。「ほーりゃい、ほーりゃい」の威勢のいいかけ声と共に、動く陽明門とも言われる極彩色の彫刻で飾られた華麗で重厚な笠鉾や屋台が、秩父屋台囃子の名調子に合わせ、夜空を彩る数千発の花火の中、団子坂の急勾配を曳き上げられる光景は、雄壮で見る人に高揚感を与えます。６台の屋台が御旅所に整列すると、斎場祭の儀式が行われます。ぜひ一度、この豪華雄壮で華麗なるまつり絵巻を見にいらしてご堪能頂ければと思います。

平成21年には、秩父夜祭を含む「秩父祭の屋台行事と神楽」を国連教育科学文化機関（ユネスコ）の「無形文化遺産」に登録するための活動を始めました。残念ながら登録は見送られておりますが、あきらめずに登録に向けて活動を続けているところです。皆様のご支援をお願い致します。

表紙写真：副幹事・斎藤　恒（行田さくら）　写真上（秩父夜祭）：共和電機㈱社員　写真下（下郷屋台）＆文：山根　益男（秩父）

ガバナー月信　第6号
2012年12月1日発行
今月の表紙：
米山記念奨学部門委員長　井上　豊
奨学推進委員長　奥田　功次
奨学学友委員長　坂本　優蔵

2012−2013年度ガバナー　鈴木　秀憲
国際ロータリー第2570地区　地区事務所
〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町２丁目５番14号　紫雲閣３Ｆ
TEL（0493）21−2570　E-mail＝d-office@mail.rid2570.gr.jp
FAX（0493）21−2571　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2012/